

ひろば大代

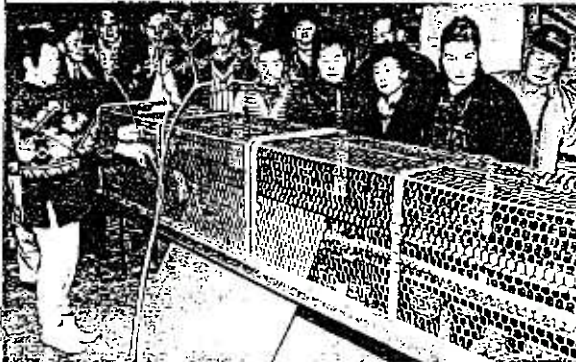
NO.247

大代公民館

無理なく進めば道は開ける

一万円札の会会長 藤井房子

「一月十九日、一万円札の会の加工場を西日本と全国に生中継させていた
だきたい……」とNHK松江放送局か
ら電話が入りました。十一日夜でした。
みつまた加工作业予定日より半月も
早い日の放送なので、とても心痛しま



した。

しかし、一万円札の会は各種の技術屋さんに恵まれています。各人が最善の力を発揮し、話し合い献身的な努力と、地域の皆様の温かな協力に支えられ、立派に中継を間に合わせることができ感謝しています。有難うございました。

放送がどんなに大変な仕事か、たった数分の生放送なのに、あれだけの労力が費やされたのを目の当たりにし、貴重な体験もさせていただきました。

愛する大代が全国に知らされたことに会員は誇りを感じています。

都会から「思わず画面に触れていました。」と便りがあり、故郷に住む私は頑張つて大代の地を守りたいと更なる思いがしています。

これから大代で和紙すき体験の場を提供するなど夢も広がっています。

皆様これまで以上にご支援下さいますようお願い致します。

追伸 放送されたビデオを藤井が持つておりますのでご利用下さい。

見ました！

「紙幣の原料みつまたで町おこし」

関西高山会事務局長 中本 弘

その時、偶然に私は勤務先のロビー備付けのテレビの画面に、紙幣の原料で町おこしの件で会長の藤井房子氏がテレビのインタビュに答えておられたのを拝見した。

その顔からの印象は「町おこしはこれだ」という自信に満ちあふれ輝いていた。またみつまたの皮をはぐ作業を一生懸命されている方々も画面に出た。それを見て、ああ故郷は頑張っている。その画面から感激、感動が伝わってきて嬉しさがこみ上げ、「故郷よ、ありがとう」と感謝でいっぱいであった。

現在一万円札の金の値打ちはだんだんとなくなってきたが、この札の紙幣の原料が故郷大江高山から生み出されたものかと考えると感無量である。

「歴史は繰り返す」というが今を去ること五十年前、私が小学生の頃小遣い銭もうけのためにこのみつまたの皮を剥ぎ、両手がその樹液でまっ黒になったことを思い出しながら、これが紙幣の原料となり町おこしの一環としてよみがえったかと考えると不思議な「えにし」を感じた。

「永遠に忘れられない故郷に幸せを」と祈念した。



地域参加型機能訓練事業について

市役所保健婦 清水宣子

「機能訓練」というと、とても物々しい感じを受けられることと思います。市が各町で計画しているこの事業は今年四月から始まる介護保険にできるだけかからなくするため（「介護予防」

という言葉を使っています）閉じこもりや、虚弱の方たちを対象に地域の皆さんと共に支え、再びいきいきとした生活を送られるような場づくり、ネットワーク化をはかっていくものです。現在市内7か所で実施していますが、公民館を会場に大田市社会福祉事業団の看護婦や市保健婦、地域からは福祉関係機関（地区社協、民生委員さん等）ボランティア団体などの協力を得ながら、月一回開いています。

内容は、レクレーション、歌、体操、手芸、そして昼食を挟んでゆつたりと和やかなふれあいのひとときを過ごしています。外に出かけることで一日の生活リズムを取戻し、また生活に張りを持つていただき、地域での集まりに自信を持つて参加していただくことが目的です。

またこの事業をとおして高齢化社会に適應する保健と福祉のまちづくりをめざしています。
”めざせ、きんさんぎんさん”

* 三月の行事予定 *

◆5日(日) 婦人会総会

講演 午前十時半～午前十二時まで
演題「見えないけれど：豊かな心を求めて」大森町 西本俊司先生

◆16日(木) 第三中学校卒業式

◆17日(金) 大代幼稚園卒園式

◆17日(金) 大代小学校卒業式

◆21日(火) ふれあい教室

◆23日(木) 連合自治会

春の全国火災予防週間

三月一日～三月七日

★—★お知らせ★—★

◎大代地区社協より

山田 日向克守様から

植松 橋本千鶴様から

平 原田勝善様から

それぞれ大代地区社協に香典返しにかえ、金一封の御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。